

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)コーナンPRO河内長野原町	階数	地上2F
建設地	河内長野市原町5丁目	構造	S造
用途地域	第二種住居地域、法第22条、高度地区	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,300時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2019年11月10日
敷地面積	2,346㎡	作成者	ゼンヨー総合設計(松永)
建築面積	1,139㎡	確認日	2019年11月11日
延床面積	2,068㎡	確認者	ゼンヨー総合設計(松本)



シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・低層の建物とし、敷地の有効活用と駐車場、駐輪場を確保するとともに周辺環境の向上に配慮した。		
Q1 室内環境 ・空調が非効率的にならない様に室内機や換気扇の位置を検討し売場の室内環境の向上に努めた。	Q2 サービス性能 ・バリアフリー新法に準拠し、売場内吹き抜けを設けることにより、開放性・快適性のある店内空間となるよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) ・歩行者用通路を設け、外部からの車両出入り口を必要最小限(1ヶ所)にするなど、周辺環境の安全性にも配慮した。
LR1 エネルギー ・省エネ法で要求される基準を最低限確保した。	LR2 資源・マテリアル ・衛生機器については、節水型の機器を採用し水資源の節約に配慮した。	LR3 敷地外環境 ・条例等で必要な駐車・駐輪スペース以上を確保した。また施設内への車の出入りの際、周辺交通に影響を与えないよう配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0113

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)コーナンPRO河内長野原町店						
	建設地	河内長野市原町5丁目						
	用途/区分	物販店						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.1	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.4	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							